



YMI WORLD

「強い義務感をもとう 義務はすべての権利に伴う」

ワイズメンズクラブ国際協会

2026年2月



YMIの医師たちは、ヒールザワールドとTOFの支援を受けて、フィリピンの山岳地帯のコミュニティーの人たちに人生を変えるようなケアを提供しています。

夢のフェスティバル



2026年国際大会の登録受付第1段階であるスーパーアーリーバードは、終了し、アーリーバードフェーズに移行しました。アーリーバード登録料は495米ドルで、2026年4月30日まで有効です。5月1日以降は、登録料が600米ドルに値上げされますので、お早めにお申し込みいただくことで、引き続き大幅な割引が受けられます。

宿泊施設につきましては、会場ホテルの特別料金の客室は当初の割り当て分が満室となりました。ただし、大会公式予約リンクから、現在も、最安料金で追加の客室をご予約いただけます。これらの料金は、ホテルに直接予約される際の料金と比べて大幅に割引されています。ご登録後、できるだけ早くご予約いただくことを強くお勧めします。宿泊施設に関する詳細は、[こちら](#)をご覧ください。

今すぐ登録すると、YMI ドリームフェスティバルプログラム、エクスカーション、RBM ゴルフトーナメントなど、大会体の体験の計画を開始することもできます。

エミレーツ航空がIC 2026の公式航空会社に決定いたしました。ご登録いただくと、確認メールで限定プロモーションコードをお送りします。このコードを使用すると、ドバイ (DXB) への往復航空券でエミレーツ航空の参加者限定割引をご利用いただけます。ビジネスクラスとエコノミークラスのセーバー、フレックス、フレックスプラス運賃が7%割引、プレミアムエコノミークラスのフレックスプラス運賃が5%割引となります。詳細は、[こちら](#)をクリックしてください。

準備はできましたか？今すぐ www.ysmen.org/ic2026 で登録し、プロモーションコードを使用して <https://www.emirates.com> でフライトを予約してください。

To dream
impossible dreams
at the world's most
futuristic city

目次

この出版物の内容は、YMIクラブの献身的な会員および役員の寄稿によるものであり、心から感謝申し上げます。また、外部からの記事やメッセージも随時掲載されることがあります。その場合は、寄稿者の方々に改めて感謝の意を表します。

	ページ
2026国際大会 プロモーション	2
国際会長メッセージ エドワード・K・W・オン 国際会長	4
国際本部ニュース ジョース・ヴァルギース 国際書記長	5
TOF(断食の時) チャン・テフン TOF推進国際事業主任	7
TOFスポットライト：申請プロジェクト、現実世界での可能性 カリブ海フードバンク ジャマイカ マンデビル・ワイズメンズクラブ	8
ヒールザワールド キム・サンチェ ヒールザワールド委員会委員長	10
アフリカ地域ニュース ジョアン・マティ アフリカ地域ニュース編集者	11
アジア太平洋地域ニュース 利根川恵子 アジア太平洋地域ニュース編集者	13
ヨーロッパ地域ニュース ビルジット・ジェイコブセン ヨーロッパ地域ニュース編集者	15
インド地域ニュース ジョセフ・ヴァルギース インド地域ニュース編集者	16
2026-28年度国際ユース代表選挙結果 2026-27 国際ユース委員会	18
韓国地域ニュース チョン・ギョンジュ 韓国地域ニュース編集者	19
米国地域ニュース メラニー・カアイフエ・ヨシダ 米国地域ユース編集者	21
国連デー ロイズ・マラセリー 国連プロジェクト委員会メンバー	22
キリスト教強調：TOF ヴィリー・モルゴー キリスト教強調国際事業主任	23
2026 国際大会 登録推進	24

編集長から

YMI ワールド に関するご意見やアイデアを共有するには、編集者にご連絡ください。

3月は

CSとグリーンプロジェクトの強調月間です。

インパクトのあるストーリーを投稿するには、以下をクリックしてください。

締め切り：2026年2月15日

[編集長へ](#)



スポットライト

TOF（断食の時）

あなたの寛大さを通して人生を変える

エドワード・K・W・オン 国際会長兼YMIワールド編集長

親愛なるワイズメン、ワイズウイメンの皆さま

2月は、私たちの最も重要な国際プログラムの一つである、毎年恒例のTOFの強調月間です。TOFの取り組みは、世界中の人道支援活動への資金提供を可能にし、会員の皆さまの思いやりと寛大さを通して、困っている人々に直接支援を提供しています。

TOFの仕組み

プロジェクトは、YMIクラブによって提案・主導されることが多く、その多くは地元のYMCAと提携し、部、区、地域の支援を受けています。YMCAは、TOF資金を直接申請することもできますが、申請は、所属するYMIクラブ、または、クラブがない場合は対応する、YMIの部、区、地域の承認が必要です。金額の多寡を問わず、皆さまからの献金は、「すべての人々にとってより良い世界を築く」という私たちの使命を果たすための重要な取り組みを支えるものです。

TOF推進国際事業主任のチャン・テフンが、今年度の支援拡大を心から訴えています。地域会長、区理事、そして部長の皆さまには、会員の皆さまに惜しみない献金を呼びかけていただくよう、強くお願いいたします。1食分の断食を行い、その費用相当額を寄付することで、私たち全員が共に大きな変化をもたらすことができます。

あなたの参画が重要な理由

断食は、健康的な習慣であるだけでなく、意義深い連帯の行為でもあります。それは、飢餓、失業、ホームレス、その他の困難に直面している地域社会の人々を思い起こさせてくれます。TOFを通じて、私たちは地域プロジェクトからより大規模な国際的事業まで、実践的な支援と希望を届けています。

あなたにできること

すべてのクラブとクラブ会員の皆さまに、TOFへの献金を強く推奨いたします。毎月一定額を積み立て、毎年5月31日（プログラム献金の締め切り）までに国際本部にお振り込みいただくことをご検討ください。また、TOFの支援を受けていないクラブでも、地域または全国規模のプロジェクトを採択または立ち上げるよう、すべてのクラブに奨励いたします。こうした取り組みは、YMIへの認知度を高め、世界的な影響力を高めることにつながります。YMIワールド各号に掲載されている数々の成功プロジェクトモデルを、ぜひご参考にしてください。

私たちの献身的なTOF委員会は、利用可能な資金を責任を持って慎重に配分することを目指しています。新規提案を慎重に審査し、進行中のプロジェクトのモニタリングを支援し、その評価に基づいて、TOFの資金配分に関する決定について代表者立法協議会（国際議会）に勧告を行います。委員会の目標は、持続可能性と成長およびさらなる発展の可能性を確保しながら、社会的に脆弱なコミュニティの人々の生活を直接改善する革新的なプロジェクトを支援することです。

私たちの運動を特徴づける奉仕の精神を体現してくださり、ありがとうございます。あなたの寛大さが、数え切れないほどの祝福となってあなたに返ってきますように。



共に、より強く

1月はワイズメンズクラブ国際協会にとって重要な節目を迎え、幕を閉じました。2026年1月26日、選挙プロセスが終了し、その3日後、指名委員会が結果を発表しました。リーダーシップ、信頼、そして奉仕という、私たちの共通の歩みにおける新たな章が刻まれました。

投票資格を持つ711クラブのうち、世界中から602クラブが投票を通じて声を上げました。この高い参加率は、プロセスへの信頼だけでなく、私たちの運動の未来に対する深い責任感を反映しています。YMIにおける民主主義は、単なる手続きではなく、団結と共通の目的の表現なのです。

会員は、インド地域の元会長であるV・S・ラダクリシュナンに2026年から2027年までの次期国際会長職を委嘱するとともに、スヴェンド・エリック・ニールセンへの信頼を改めて表明し、2027年から2030年の任期で国際会計に再選しました。両名に祝意を表すとともに、透明性と意義のある選挙の実現に貢献したすべてのクラブと候補者に感謝の意を表します。

リーダーシップが確認された2月は、私たちの注意を、統治から行動に移すよう促します。

何世代にもわたり、TOFは、奉仕というものは、しばしばシンプルな個人的な選択から始まることをクラブ会員に思い出させてきました。たとえ1食でも食事を抜き、その価値を分かち合うことで、会員は、自身の日常生活と無数の人々が直面している現実を結びつけます。小さなことに思えることも、私たちの運動全体に広がることで、大きな力となります。

TOFは毎年、YMIとYMCAが支援するプロジェクトに約10万スイスフランを投入し、コミュニティの強化と、最も必要とされる場所で持続可能な変化の創出に貢献しています。TOFは、調達した資金だけでなく、私たちが何者であるかを物語っています。それは、社会の周縁にいる人々と連帯し、立ち止まり、深く考え、行動する意志を持つ人々です。

TOFと並んで、ヒールザワールド（HTW：世界を癒そう）プログラムは、急速に変化する世界へのYMIの対応を形作り続けています。2020年、世界的な不確実性の時代に誕生したHTWは、レジリエンス（回復力）と協力の象徴として浮上しました。その目的は明確です。それは、危機が発生した際にYMIが迅速かつ効果的に対応できるようにすることです。

自然災害、紛争、人道的課題といった緊急事態がますます頻繁に発生する世界において、HTWは、単なる意図にとどまらず、タイムリーな行動へと繋げることを可能にします。このプログラムを通じて、最も必要としている人々に、最も必要な時に支援を届けることができます。クラブの皆さまには、HTWを募金活動の一環としていただくことを推奨します。これにより、YMIは、要請があればいつでも支援を提供できる態勢を整えられます。

YMIグローバルアンケートへの参加期限が2月16日まで延長されました。YMIの未来を形作るために、皆さまの夢や希望を共有していただければ幸いです。

2月20日と21日には、オンラインで開催される年央会議（ミッドイヤーミーティング）が、振り返りと計画の場となります。執行役員、国際議員、国際事業主任、そして委員会およびタスクフォースの委員長が、過去6ヶ月を振り返り、下期の優先事項を整理し、新たな視点で2026/27年度を見据えます。

これらの活動が進むにつれ、クラブは、私たちの運動を支える実務上の責任を改めて認識することになります。国際会費は、2月28日までに納入してください。また、iMISプラットフォームを通じた正確な会員報告は、請求書のタイムリーな発行と銀行規制の遵守に役立ちます。こうした事務管理のおかげで、国際本部は、運動に効率的かつ透明性のあるサービスを提供できるのです。

さらに先を見据えると、2026年3月9日から13日まで、インドネシアのバリ島で開催される第6回国際RDEサミットには、60名を超える参加者が集まり、対話、学び、ビジョンの共有を行います。このような集まりは、戦略だけでなく、効果的なリーダーシップの基盤となる人間関係を強化することにもつながります。

年が進むにつれ、私たちはすべての会員に、リーダーシップ、奉仕、寛大さ、そして友情を通して積極的に運動に参加するよう奨励しています。ここジュネーブでは、日がゆっくりと長くなり、明るくなり、私たちの運動に流れる静かな希望が響き渡っています。

ワイズメンズクラブ国際協会は、共有された信頼と思いやりある行動を通じて、奉仕、癒し、そしてリーダーシップというこの3つすべてを必要とする世界で歩み続けます。

おめでとうございます！



V・S・ラダクリシュナン
次期国際会長
2026年 - 2027年



スヴェンド・エリック・ニールセン
国際会計
2027年 - 2030年



TOF(断食の時)

チャン・テフン TOF推進国際事業主任

YMIクラブ会員の皆さま

新年の始まり、そしてYMIの2025/26年度後期の始まりにあたり、皆さまにご挨拶できることを大変嬉しく思います。2026年が皆さまにとって希望と喜び、そして充実した年となりますようお祈り申し上げます。

2月はTOFの強調月間にあたり、私は、この重要なYMIプログラムについてのメッセージと、私たちが一緒になって、さらに大きな影響を与える方法についてお伝えできることを嬉しく思います。

過去10年間、TOF基金への献金は、減少傾向にあり、この傾向は、意義あるプロジェクトを支援する私たちの能力を深刻に脅かしています。同時に、紛争、自然災害、気候変動といった地球規模の課題への対応に必要な資金は増大しています。つまり、支援の需要が高まる一方で、拠出金の確保は、ますます困難になっているのです。

しかし、私は、私たちが力を合わせればこれらの困難を乗り越えられると固く信じています。韓国のことわざ「スプーン10本で1食分」という言葉があるように、たとえ小さな貢献でも、多くの人の協力が大きな影響を与えることができます。

現在、今年度のTOFへの献金を行った区は、ごくわずかです。区理事の皆さまには、これらのギャップへの対応を率先して行っていただくようお願いいたします。これにより、YMIは、支援を拡大し、クラブがTOFの取り組みのメリットと影響を体験し、その効果を実感する機会を増やすことができます。なお、来年度以降、TOFプロジェクト助成金を申請するYMIクラブは、前年度にTOF献金を行っていないと、プロジェクトの財政支援を受けることができませんのでご注意ください。

TOFの募金活動の伝統（クラブ会員が1食抜き、その費用をTOFに献金する）に則り、また、恵まれない人々、弱い立場の人々、社会的に疎外された人々を支援するというYMIの精神に則り、今期は、会員の皆さまに、さらに1食抜き、その金額をTOFに寄付していただくようお願いいたします。年間2食抜くことは、年間の食費のわずか0.2%に過ぎませんが、TOFプロジェクトへの多大な貢献につながります。この小さな個人的な犠牲は、私たちが世界中で推進するプロジェクトへの多大な支援に直接つながります。

さらに、TOF委員会委員長（TOFCC：田中博之）および国際本部と協力して、今年度後半に実施する特別募金キャンペーンにおいて、応募プロジェクトの中から特に影響力のある革新的なものをいくつかご紹介していきます。これらのプロジェクトは、資金提供の対象となる「選定」プロジェクトと認定された訳ではありません。プロジェクトの認定は、毎年開催される代表者立法協議会でのみ行われるからです。これらのキャンペーンは、TOFが支援する取り組みの即時的で現実的なインパクトを示すことを目的としています。これらの事例を紹介することで、人々の心に響き、TOFへのより広範な支援を促し、この基金が困窮している人々に役立つ可能性を示すことができれば幸いです。

TOFをYMIの象徴的なプログラムにとどまらず、すべての人にとって、より良い世界を創造するという私たちの使命を強化する主要な支援プログラムにしていきましょう。私たちは、この挑戦に立ち向かい、今期を真に影響力のあるものにすることができると確信しています。

2026年も皆さまのご尽力に神のご加護がありますように。





TOFスポットライト

申請されたプロジェクト、現実世界の可能性

TOFキャンペーンイニシアチブのご紹介

今後数ヶ月にわたり、YMIはTOF推進国際事業主任およびTOF委員会と協力し、2026/27年度TOFプロジェクトとして申請され、予備審査を通過したプロジェクトの中から、独自性があり、実行可能で、明確かつ測定可能な効果をもたらすように設計されたプロジェクトをいくつか紹介します。これらのキャンペーンは、個々のプロジェクトのための資金調達を訴えるものではありません。最終的な選定は、年次代表者立法協議会でのみ行われます。むしろ、TOFのリソースが現実世界に与える影響を示すことを目的としており、YMIの核となる価値観である奉仕とグローバルな親睦が、各TOF事業を通じてどのように実現されているかを示し、クラブの皆さまに、この主要プログラムの継続的な成功にとって、一人ひとりの寄付がいかに不可欠であるかを改めて認識していただくことを目的としています。

カリブ海地域における食料安全保障と緊急事態への備えを通じたレジリエンスの構築

最初に注目されるプロジェクトは、ジャマイカのカリブ海地域フードバンク・プロジェクトです。マンデビル・ワイズメンズクラブが提案するこのプロジェクトは、ハリケーン、洪水、干ばつによって悪化する食料不安に対処することを目指しています。太陽光発電式の貯蔵庫を備えた中央倉庫に緊急時の食料を保管し、年間を通して困窮世帯を支援できるよう準備します。この取り組みは、年間500人以上に直接的な恩恵をもたらすと見込まれており、さらに多くの人々が地域ネットワークを通じて間接的に恩恵を受けています。このプロジェクトは、TOF資金がもたらす即時的で具体的な効果を実証します。持続可能性、他組織との連携、そして多様なステークホルダーとの連携を組み合わせることで、YMIの認知度を高め、地域社会への貢献を強化しています。



2月の重点プログラムである「ヒールザワールド」(HTW)と合わせて、このプロジェクトは、YMIの特別かつ対象を絞った基金の力と影響力を浮き彫りにする役割も果たしています。2025年10月に壊滅的なハリケーン・メリッサが襲来した際、HTWは2,500米ドルの国際緊急資金を提供し、米国とカナダからの寄付者からは、追加支援と必需品の提供を受け、地域の復興活動を補完しました。この支援は、カナダ/カリブ海諸国地域大会においてさらに強化され、代表団が積極的に救援活動に参加したことで、大会に、地域に密着した独自の要素が加わりました。この集団的な対応は、YMIの中核的価値観の一つであり、TOFプログラムの中心的な要素であるグローバルな連携の力を体現しています。

カリブ海地域フードバンク・プロジェクトは、TOFが支援する取り組みが、緊急のニーズへの対応、持続的なパートナーシップの構築、そしてYMIの認知度と影響力の強化といった、真の変化をもたらすことを実証しています。これらのストーリーを共有することで、TOFとその困っている人々を支援するという使命への幅広い支援を促したいと考えています。

クリックしてTOFプログラムに寄付を行う



昨年より大幅にTOF献金が増額した区を表彰いたします。



カリブ海フードバンク

ジャマイカマンデビル・ワイズメンズクラブ

申請者	マンデビル・ワイズメンズクラブ
共同パートナー	キングストン・Yサービスクラブ、メイバンクラレンドン・Yサービスクラブ、STEPS フェイス・パントリー（およびその他の地元団体）
プロジェクト名	カリブ海フードバンク
プロジェクトの場所	マンチェスター、ジャマイカ
過去のTOF助成金	TOF 19-03 ワイズホープキャンプ（進行中）
概要	TOFの資金は、40フィートの金属製輸送コンテナを確保して改造し、太陽光発電システム、ユーティリティ、温度制御を導入して、ジャマイカに、完全に機能するフードバンクを設立するために使用されます。
プロジェクトの背景	カリブ海地域における食料不安は、喫緊の課題であり、ハリケーン、洪水、干ばつといった自然災害によってさらに深刻化しています。2025年10月のハリケーン・メリッサをはじめとする近年の災害では、物流と保管の課題による救援活動の遅延が顕著となっています。カリブ海地域に中央集中型のフードバンクを設立することで、飢餓の影響を軽減し、災害への備えを強化し、脆弱な立場にある人々への年間を通じた支援を提供できるようになります。ジャマイカに中央倉庫を設置し、いつでも利用可能な緊急食糧供給体制を整えることで、年間約500人に直接的な支援を提供するとともに、家族や地域社会を通じて、さらに多くの人々に間接的な支援を提供します。
プロジェクト活動	<ul style="list-style-type: none">敷地を確保し、土地の認可を確定します。敷地を整備し、40フィートの輸送コンテナを調達して設置します。食品保管用のコンテナを改造します（ドア、窓、棚、仕切り）。太陽光発電システム、ユーティリティ、温度制御を設置します。食品安全コンプライアンス（許可、検査）を確立します。機器や備品を購入します。食糧調達と輸送の準備（輸入書類、寄付者の調整、運送契約）を行います。
直接受益者数	625
間接受益者数	1,750
プロジェクト期間	定常的。国際および地元の寄付者による支援と、地元のYMIクラブによる資金調達により、持続可能な運営が可能です。
プロジェクトの持続可能性	フードバンクは、寄付者や継続的なコミュニティパートナーシップによって支えられた食糧の補充により、プロジェクト期間後も継続的に運営されます。
焦点となるSDG	2. 飢餓ゼロ
プロジェクトボランティア	はい - 物流 / 資金調達
TOFリクエスト	1万5,000スイスフラン
プロジェクト総予算	29,466スイスフラン
すでに確保済みの資金	14,466スイスフラン



ヒールザワールド (HTW:世界を癒そう)

キム・サンチェ ヒールザワールド委員会委員長

「ヒールザワールド」は、ワイズメンズクラブ国際協会にとって単なるテーマではありません。人々のニーズがあるところに、思いやり、責任、そして行動をもって応えるという、私たちの共通の決意を反映しています。私たちの運動全体を通して、癒しは医療サービスだけでなく、教育、人道支援、そして地域社会との持続的なパートナーシップを通して表現されています。

2025年10月、YMIドクターズとして広く知られる韓国地域医療奉仕委員会は、フィリピン・アンティポロのサンホセ・マウンテン・ビレッジで第13回国際医療ミッションを実施しました。ヒールザワールド基金 (TOF 25-11) の支援を受け、サンシャイン・ミッションセンターと連携したこのミッションは、3日間で355人の患者に無償の医療を提供しました。ボランティアチームには医師、看護師、事務職員が参加し、現地の通訳と緊密に連携して活動しました。

このクリニックは、医療へのアクセスが極めて限られている遠隔地の山岳地帯の住民にサービスを提供しました。教会や屋外のコミュニティスペースで医療サービスが提供され、呼吸器感染症、筋骨格系の痛み、皮膚疾患、消化器疾患といった一般的な症状に対応しました。約300人の子供たちが駆虫薬とビタミン剤を受け取り、8件の外科手術が無事に完了しました。多くの患者にとって、これは尊厳と敬意を持って提供される専門的な医療を受ける初めての経験でした。

同じ奉仕の精神に基づき、ウルギョン区のジンジュチョクスク・ワイズメンクラブは、2025年11月にマニラで海外奉仕プログラムを実施しました。彼らの活動は、デジタル学習機器の提供、食料支援、食事の分かち合い、クリスマス・アウトリーチなど、子どもと若者に焦点を当てていました。これらのシンプルでありながら意義深い活動は、地域のパートナーや家族との絆を強め、励ましを与えました。この短いビデオクリップは、ジンジュチョクスク・ワイズメンクラブのマニラでの奉仕活動を紹介しており、読者の皆様にこれらの奉仕と繋がり的一瞬间をご覧ください。

これらの個別の取り組みに加え、「ヒールザワールド」基金は、人道支援のための迅速な窓口としての役割を担い続けています。最近の拠出金は、ガザYMCAへの支援やジャマイカのハリケーン被災者支援など、緊急救援活動に充てられました。ケニアを含む世界中のYMI加盟クラブからの寄付は、この使命の集合的な性質と、国際的な運動としての私たちの共通の責任を実証しています。

世界を癒すということは、一度きりの行為ではなく、継続的な旅です。ワイズメンズクラブ国際協会は、揺るぎない存在、思慮深い行動、そして国境を越えた協力を通して、愛と行動を通して表される信仰をもって人類に奉仕するという使命を、今もなお貫いています。



アフリカ地域ニュース

ジョウン・マティ アフリカ地域ニュース編集者

GOLD 2.0 コホート4完了

若者の参画・活動（YIA）事業主任のベンソン・カスティが率いるグローバル・リーダーシップ育成機会（GOLD 2.0）プログラムの第4期が、2025年12月16日にケニアで無事終了しました。

9月16日から12月16日までの3ヶ月間、33名の参加者（主にケニア、ボツワナ、ウガンダ、タンザニア出身）が、毎週の学習セッション、実践的な応用、指導による内省、そして個人の成長を組み合わせ、体系的なリーダーシップ育成プログラムに参加しました。このプログラムは、リーダーシップを「なる」プロセスとして捉え、意図、勇気、サーバントリーダーシップ、そしてグローバルなマインドセットに焦点を当てました。参加者は、自らの価値観を探求し、視野を広げ、目的と責任を持ってリーダーシップを発揮する能力を強化するよう促されました。

このプログラムの成果は、卒業生のリーダーシップスキル、自己認識、自信、そして奉仕へのコミットメントの向上に顕著に表れています。コホート4のリーダーたちは、GOLD 2.0の真の精神を反映し、誠実さとビジョンを持って地域社会、組織、そして地域に影響を与えることができました。

卒業生の皆さんに、心からお祝い申し上げます。また、このプログラムを実現させていただいたファシリテーター、パートナー、そしてワイズメンズクラブ国際協会のリーダーの皆さまに深く感謝申し上げます。このコホートの波及効果はすでに始まっており、今後も拡大していくことでしょう。

GOLD 2.0 コホート4

卒業生



おめでとう！

フードドライブ



2025年12月26日、ラゴス・ワイズメンズクラブは、クラブ会長ケヒンデ・アデオエの指導の下、地元のコミュニティグループ「フォルケ・デデ&フレンズ」と協力し、ラゴス市のYMCAで2025年度年度次フードドライブを開催しました。このプログラムは、過去7年間実施されており、ますます盛んになっています。食料や家庭用品の配布に加え、讃美歌や礼拝、聖書朗読、YMIとYMCAの歴史、目的、目標に関するレッスンなど、様々なアクティビティが行われました。今年のフードドライブは、合計12万人に食料を提供しました。

TOFプロジェクト着工



12月30日、キトゥイYサービスクラブのワイズメンは、ムランゴ・ヘルスセンターの役員と共に、ポール・ウィリアム・アレキサンダー新生児ユニット／病棟の起工式を行いました。これは、TOF基金から2025年に1万2,000スイスフランの助成金が交付されたことを受けてのものです。ケニアのワイズメンにとってこの節目となる出来事は、看護ステーション、患者用個室16室、水洗トイレ、事務室、洗面所を備えた375.38平方メートルの小児病棟の建設を通じて、1万人以上の地域住民に恩恵をもたらすプロジェクトの始動を記念するものです。完成は2026年12月を予定しています。

iGoプログラム



ケニアからインドへ渡った iGo インターンのメアリー・シミユ、インドのワイズメンで国際スポーツジャーナリストのノリス・プリタムとのインタビュー全編をご覧ください。

ビデオを見るにはここをクリック
してください



アジア太平洋地域ニュース

利根川恵子 アジア太平洋地域ニュース編集者

台湾区に新しいクラブが誕生：宜蘭ワイズメンズクラブ



2026年1月17日、宜蘭（イーラン）にてチャーターセレモニーが開催され、前田佳代子地域書記、アンジェラ・ワン区理事、レベッカ・リュウ部長そして香港からのゲストが出席しました。チャーター会長のレオ・リュウと17名のチャーターメンバーが正式に入会しました。台湾の新たな地に新しいクラブを設立するにあたり、卓越したリーダーシップと献身的な尽力に、心から感謝申し上げます。スポンサークラブである桃園ワイズメンズクラブも、チャーターの成功に大きく貢献しました。宜蘭クラブをYMIファミリーに心からお迎えます。

アジア太平洋地域の各地での新年のお祝い： —豊かな親睦は、祝賀会の中心的な部分です。

在京ワイズ合同新年会

2026年1月10日、90名を超えるクラブ会員とユースボランティアリーダーが東京YMCAに集まりました。



九州部：熊本ジェーンズと熊本Nスピリット 2026年1月13日、熊本



2026年1月18日、富士山部、富士クラブと富士宮クラブの合同新年祝賀会



南東アジア区



香港部評議会 2026年1月

ベンディゴYサービスクラブが祝祭の喜びを広める

2025年12月21日、ベンディゴYサービスクラブはコミュニティ・フェスティバル・ミールズ・プログラムを開催し、グレーター・ベンディゴ地域の約150人の困窮している個人と家族に栄養価の高い無料の食事を提供しました。このイベントは、完全に無料で、誰でも参加でき、経済的な障壁なく参加できる環境を整えました。約150名の参加者が、文化に配慮し、多様な食生活のニーズに対応し、あらゆる文化・宗教的慣習を尊重した、栄養価の高い食事を楽しみました。



クラブのボランティアとベンディゴのインド人協会が主導するチームは、企画や装飾から食事の準備や配布まで、イベントのあらゆる側面を管理し、参加者にとって公平で協力的、そして歓迎的な環境を確保しました。

このイベントについて、クラブ会長のアジェイ・ミシュラは、次のように述べています。「食事の配布が公平かつ敬意を持って行われ、参加者全員にとって支えとなる環境を整えることは、私たちにとって非常に重要でした。これらの取り組みを通じて、YMCAの価値観を体現し、安全で、誰もが参加でき、責任あるイベントを開催することを目指しています。」

85年を超える、誇りある歴史を誇るベンディゴYサービスクラブは、包摂的かつ温かく迎える方法で困っている人々にサービスを提供し、グレーターベンディゴコミュニティに意義ある貢献を続けています。



次世代：アルメニアでの入学式とクリスマスのお祝い



2025年12月25日、アルメニアのYMCAジェネレーション・ネクスト・チームは年次評価会議を開催し、新設のルーツ&ネクストYサービスクラブの初代メンバーを迎え、地域コミュニティと共にホリデーシーズンを祝いました。ジェネレーション・ネクスト・プログラムは、若者がリーダーシップ開発、地域奉仕、個人の成長に取り組むことで、国内外でYMCAの取り組みに貢献する機会を提供するものです。このイベントで、ヨーロッパYMCA同盟総主事のヴァルダン・ハンバルズミアンがYMIと新クラブを紹介し、その使命と、個人の成長と地域奉仕への潜在的影響を強調しました。ジェネレーション・ネクスト奨学金受給者には特別な配慮が払われ、卒業後にYサービスクラブに参加してYMCA同窓生ネットワークとのつながりを維持することが奨励されました。YMIデンマーク区理事のクリスチャン・ヘルムズとビルジット・ジェイコブセン会長（スポンサークラブ：オーラム・ワイズメンズクラブ）がオンライン通話で参加し、組織と新メンバーの熱意を称賛しました。季節の行事に合わせ、主催チームは、来賓と奨学金受給者に感謝の意を表し、地域および国際YMCAプログラムへの個々の貢献と集団的な影響を称えました。集会は、レセプションで締めくくられ、成果と意義深いプロジェクトに満ちた、平和で豊かな新年を心よりお祈りしました。

希望の実践：国際ディアコニア講座

2026年4月20日から5月10日まで、デンマーク区と教会を基盤とした開発センター（CKU）は、デンマークの複数のディアコニア（キリスト教に基づく奉仕団体）および開発団体と協力し、「Hope in Action（希望の実践）」を開催します。この3週間の国際コースでは、参加者にディアコニアと教会を基盤とした開発活動への没入型入門を提供し、特にグローバル・サウスの経験と課題に焦点を当てます。



（「グローバル・サウス」とは、裕福な国々と比べて、歴史的に植民地主義を経験し、工業化のレベルが低く、経済的または社会的課題が続いている世界の地域を表すために使用される用語です。）

このコースでは、神学的考察、実践的なケーススタディ、そしてデンマークの事例を通して、キリスト教の希望を多様な文脈においてどのように意義深い行動へと転換できるかを探ります。プログラムは、デンマークのオーフスにあるディアコナル・カレッジにおいて、異文化・エキュメニカルな環境の中で開催されます。講義、ワークショップ、ディスカッション、知識共有、現地視察などが行われます。主なテーマは、ディアコニアの神学的基盤、国際パートナーシップに関するポストコロニアル的視点、ディアコナル・リーダーシップ、そして地域的および世界的な課題に直面する社会における奉仕への実践的なアプローチです。詳細は www.diakonhojskolen.dk/hope-in-action をご覧ください。

南インド区

サティヤマンガラム・シェローズ・ワイズsウィメンズクラブは、タミル人の収穫祭ポンガルを祝って、サティヤマンガラム・虎保護区内のカリ・ティンバム村の部族コミュニティを対象としたイベントを開催しました。あらゆる年齢層を対象としたゲームや競技会を開催し、70以上の賞品を配布しました。この楽しいイベントは、READ組織ディレクターのカルップサミーとそのチームの支援により実現しました。



コインバトル・ワイズメンズクラブは、AKRアカデミーと協力して約1,500人に食事を提供した、同クラブの代表的なプロジェクト「週1食」の450週目を祝いました。これは、継続的な奉仕と思いやりの誇らしい節目です。



ワイズGenext 2026地域ユースキャンプがチェンナイのヒンドゥスタン工科大学で開催され、22名が参加しました。キャンプでは、YMI、CPR、AI、デジタルデストラクション、批判的思考、ロジスティクスに関するセッションに加え、討論、ゲーム、宝探し、ズンバなどが行われ、若いリーダーたちのリーダーシップ、チームワーク、そして社会的責任を育みました。



南中央インド区



ヴィルドゥナガル・ワイズメンズクラブは、幼稚園生から8年生までの生徒を対象に、第31回ワイズメン・イダヤム・ナネリ大会を開催し、5,329人が参加しました。この大規模な広報活動により、タミル・ナドゥ州ヴィルドゥナガル地区におけるワイズメンズクラブ国際協会の社会奉仕活動の認知度が大幅に向上しました。

ピーニャ・ワイズメンズクラブとインディラナガル・ワイズメンズクラブは、バンガロール第1部の主導の下、スパンダナ児童養護施設で創設者記念日を共同で祝いました。地域会長と地域キャビネットの出席も得ました。祝賀行事の一環で、地域奉仕プロジェクトへの支援として10万ルピー（約1,220米ドル）が配布されました。



インド地域ユースキャンプ「ユヴァンタラ」が2026年1月16日から18日までイドゥッキで開催され、地域全体から熱心な若者たちが集まりました。このキャンプはリーダーシップ、友情、そして個人の成長に焦点を当て、地域会長のバブ・ジョージによって開会されました。



南西インド区

コーラム・ロイヤルズ・ワイズメンズクラブは、50人の貧困層の寝たきりの高齢患者に医薬品、ベッドカバー、おむつ、オート麦、栄養ドリンクを配布しました。このプログラムは、元区理事のK・ベンカテシュによって開会され、現部長のアジ・メノンが配布を指揮しました。物資は、地域認定社会保健活動家と区メンバーの支援を受けて、受益者の自宅に届けられました。



西インド区



クンナムクラム・ワイズメンズクラブは、町内の事故多発地点に凸面鏡を設置する交通安全プロジェクトを開始しました。この凸面鏡は、死角での視界を改善し、ドライバーと歩行者が対向車を予測しやすくすることで事故を減らすのに役立ちます。



ライアン ジェームズ

2026-28年度国際ユース代表

2026～28年度国際ユース代表（IYR）選挙は2026年1月12日に終了し、当選したインド地域のライアン・ジェームズに祝意を表します。

ライアンは、南中央インド区にあるバンガロール・ジャヤナガル・ワイズメンズクラブの熱心な会員です。2004年からワイズメンズクラブ国際協会に関わっています。彼の最大の目標は、若者がリーダーシップ、目的意識、そして思いやりを育む、YMIが常に魅力的で一貫性のある場であり続けることです。持続可能な開発に重点を置くことで、個人の願望と社会貢献への共通の願いの間にある溝を埋めることを目指しています。

ライアンさん、おめでとうございます！IYR任期中に、あなたのリーダーシップと、ワイズユースファミリーへの貢献に期待しています。



韓国地域ニュース

チョン・ギョンジュ 韓国ニュース編集者

韓国地域年央会議寝と新年式典が開催されました



韓国地域2025/26年央会議および2026年新年式典が1月10日、キムヘ市ボンガ村の盧武鉉記念館で開催され、エリアリーダー、11区の理事、委員会メンバー、そして幅広い地域事業主任を含む約150名が参加しました。パク・チャサン地域会長は、新年の挨拶で、会員に対し、下半期は「心を一つにして期待以上の成果を上げる」よう激励しました。エリア、区、委員会、事業部門の活動報告が行われました。エリア書記のリ・ガンソプは、上半期の国内外の活動を振り返り、下半期の計画を概説しました。一方、エリア会計のジュン・ドキュンは、7つの国際プログラムを紹介し、国際会長の目標達成のため、一人当たりの献金額を6.14スイスフランから17.10スイスフランに増額するよう呼びかけました。



韓国西区は、会員数を244人から327人に増加させた「333拡大キャンペーン」により、「最優秀区」として表彰されました。この成果は、地域における運動に対する地元の認識を前向きに変え、地域のリーダーシップを再構築するための取り組みを強化しました。



「ベストクラブ事例」として2つのクラブが取り上げられました。1つは「ゴールドクラブ」のステータスを維持しながら10名の会員を獲得したジンジュ・ベータ・チョクスクラブ、もう1つは「ダイナミック・ヤング・リーダーズ・フォーラム」をはじめとする強力なコミュニケーション活動を通じて成長し、6名の新規会員を獲得したハイナン・タンクックラブです。これらの報告とベストプラクティスの発表を通して、韓国地域のワイズメンリーダーたちは目標を再確認し、今年度後半も引き続き成長と発展を続けるという決意を新たにしました。



ジンジュ・ベータ・チョクスクラブ



ハイナン・タンクックラブ

韓国西区 年末ボランティア活動と新年新入会員式



12月、イエサンクラブ（忠南北西部、チョン・ムンジャ会長）は、救世軍の鐘鳴らし募金活動に参加し、寄付金を出し、喜びを分かち合いました。また、12月13日には「愛の橋」奨学金の卒業生を祝って特別な食事会を開きました。



デジョンセブンクラブ（デジョン部 ハン・ギムン会長）は、1月8日にデジョン・クンビッ・メソジスト教会で新入会員5名による宣誓式を行い、チュ・チャンホアン理事とユ・ヨンレ部長の祝辞とともに新年を迎えた。

米国地域ニュース

メラニー・カアイフェ・ヨシダ 米国地域ニュース編集者

ニューヨーク・ロックランドYサービスクラブ設立



2025年12月26日、米国地域北大西洋区に、20名の会員からなる新しいクラブが設立されました。このクラブは、ニューヨーク・ウエストチェスターYサービスクラブがスポンサーとなりました。チャーター式典は、地域会長のジョセフ・カンジャマラと前地域会長のシャジュ・サムが共同で主導し、スポンサークラブのジョセフ・マッシューズ会長が司会を務めました。式典には、複数の地域リーダーに加え、特別ゲストとしてビル・ウェーバーニューヨーク州上院議員が出席しました。ウェーバー氏は、YMIの親睦と慈善活動への取り組みを称賛し、YMIのような組織が地域社会を支援し、意義深い影響を与える上で果たす重要な役割を強調しました。

新しいクラブの役員は、ポール・カルッカパリー（会長）、アレックス・トームズ（書記）、ノア・ジョージ（会計）です。

祝賀会は、クラブメンバーによるさまざまなエンターテインメントで終了し、新しいクラブの喜ばしい始まりを告げました。



ウェストチェスターYサービスクラブのホリデーセレブレーション



ニューヨーク・ウエストチェスターYサービスクラブは、祝祭シーズン中に2つの特別な行事を祝いました。2025年12月6日の感謝祭と、2026年1月3日のクリスマスと新年の祝賀会です。どちらのイベントも、奉仕、親睦、地域社会への関与に対するクラブの強いコミットメントを反映しています。

感謝祭の祝賀会には、国際書記長のジョース・ヴァルギース、ジョン・メレプラム神父、ニュージャージーYMCA州同盟CEOのジュリー・ギャランティ、そして米国地域会長のジョセフ・カンジャマラをはじめとする著名なゲストが多数出席しました。ジョース・ヴァルギースは、基調講演で、与えることの喜び、慈善活動と友情の大切さを強調し、ジョセフ・マシューとジョセフ・カンジャマラを傑出したリーダーとして表彰しました。プログラムには、ドバイで開催される国際大会の発表、この取り組みに賛同する10家族の登録、そしてYMCAとの今後の協力に関する話し合いも含まれていました。

クリスマスと新年の祝賀会では、華やかなパフォーマンス、ゲーム、そしてシークレットサンタの交流が行われました。今後の戦略計画が共有され、ラッフル（抽選会）で3,000米ドルのチャリティ募金が集まりました。この募金により、クラブは、インド・ケララ州カンヌール地区の学校の建設と改修を支援することを決定しました。この年は、ハドソンバレーとロックランドという2つの新しいクラブのスポンサーシップを得て、クラブの使命と活動範囲をさらに広げ、盛況のうちに幕を閉じました。



国連デー

国連プロジェクト委員会メンバーのロイス・マラセリーが特定し要約した、2月の主要な国連記念日



ロイス・マラセリー
国連プロジェクト
委員会メンバー

世界宗教調和週間

平和文化の基盤として、信仰に関わらず、すべての人々の相互理解、宗教間対話、調和を促進することを目的とし、国連総会によって設立されました。

2月1日～7日

国際人類友愛デー

平和、社会的結束、持続可能な世界を育むために、思いやり、対話、協力などの共通の人間の価値を重視します。

2月4日

暴力的過激主義防止国際デー

暴力的過激主義は国連の目的と原則に対する侮辱であり、すべての国の平和と安全、人権、持続可能な開発を損なうものであることを強調します。

2月12日

世界観光レジリエンスデー

収入、雇用、開発を支援する上での観光の重要な役割を強調するとともに、人々と自然を結びつけ、環境に対する責任と保護を促進する持続可能な慣行を促進します。

2月17日

世界社会正義デー

平等な機会を促進し、貧困と差別と闘い、すべての人々の人権と公平性が尊重される包摂的な社会を育成することの重要性を強調しています。

2月20日

このセクションでは、YMIの価値観と使命に最も深く共鳴する、国連の主要な記念日をいくつかご紹介します。国連記念日の全リストと詳細については、国連公式カレンダーをご覧ください。

目的のある寄付への道としての信仰に基づく断食

ヴィリー・モルゴー キリスト教強調国際事業主任

断食とは、短期間または長期間、飲食を断つことです。この慣習は、ユダヤ教、キリスト教、イスラム教、ヒンドゥー教、仏教など、多くの宗教に見られます。

イエスがユダヤ人であったことから、キリスト教は断食の慣習をユダヤ教から受け継いだと言えるかもしれませんが、しかし、荒野でのイエスの断食（マタイによる福音書 4:2）は伝統的な慣習をはるかに超えるものでした。それは功績を示す儀式ではなく、準備と自己鍛錬として機能しました。自発的な断食は認められていましたが、新たな目的が与えられました。断食は悲しみではなく、内なる準備と喜びの表現となり、断食を行う者は、祝祭的な態度を保つよう奨励されたのです（マタイによる福音書 6:16-18）。

これは、断食が公にどのように実践されるかにも影響を与えました。喪と断食は祝賀の時期にはふさわしくなく、イエスの死の時にのみ弟子たちは断食を命じられました（マタイ9:15）。マルコによれば、伝統的な敬虔の慣習はさらに変化し、イエスの教えにおける霊的生活への新たなアプローチを反映しました（マルコ2:18以下）。

新約聖書では、断食は自由の象徴とみなされており、義務ではなく選択です。断食をするかしないかは人それぞれです。ほとんどのキリスト教徒は、イースターまでの40日間、何らかの形で断食を行います。

1970年12月13日、ワイズメンズクラブ国際協会は、初の国際「断食の日」を開催しました。この日、クラブ会員は食事を抜き、その費用相当分を世界YMCA難民プログラムに寄付し、脆弱な人々の食糧不足の緩和を目指しました。1972年、このアイデアはYMIの「断食の時（TOF）」プログラムへと発展しました。長年にわたり、TOFは、多額の資金調達と多くの意義深いプロジェクトの支援を通じて、目覚ましい成功を収めてきました。TOFは、YMIの使命の中核である「すべての人にとって世界をより良い場所にする」ことを体現しています。2月はTOFの強調月間と定められています。YMI会員全員が断食の習慣がある教会に属しているわけではありませんが、多くの会員が食事を抜くことで、TOFの伝統を尊重したり、直接献金をしたりしています。献金も同様に歓迎されています。

私たちは、あらゆる方法でTOFに参加することで、困っている人々との連帯を示し、前向きな変化を生み出すというYMIの使命を守ります。





第75回国際大会
ミレニアムプラザダウンタウンホテル
ドバイ、アラブ首長国連邦

ワイズメンズクラブ国際協会
2026年国際大会
2026年9月10～13日



スーパーアーリーバードは終了しました

アーリーバード
2026年2月1日～4月30日
495米ドル

通常
2026年5月1日～7月31日
600米ドル



アーリーバード（早期登録）の
締め切りは2026年4月30日です
詳細情報や登録については
大会ウェブサイトをご覧ください
www.ysmen.org/ic2026

エミレーツ航空 - 2026国際大会の公式航空会社

大会参加者は、ドバイへの旅行にエミレーツ航空の特別割引を受けることができます。

Saver、Flex、Flex Plus（ビジネス&エコノミー）7%割引
Flex Plus（プレミアムエコノミー）5%割引



www.emirates.com にアクセスし、大会登録確認書に記載されているプロモーションコードを入力してください。

エミレーツ航空のゲートウェイ都市からドバイ国際空港（DXB）への往復旅行にのみ有効です。旅行期間：大会開催日の5日前から15日後まで（両方のフライトがこの期間内になければなりません）